

生と死のコーナー関連行事

講演会

緩和ケアの現場から

— 在宅と有床診療所での終末期医療 —

講師 土地 邦彦

〔 医療法人 どちらペインクリニック 理事長
玉穂ふれあい診療所 院長 〕

【 緩和ケア(ホスピス) 】

患者と家族の苦痛を緩和し、患者の生活の質(Quality of Life : QOL)の向上を目指して行われるケア。

患者と家族が可能な限り人間らしく快適な生活を送れるように、痛みや症状の緩和、心理面、社会面、精神面のケアが提供される。

日時 ●平成17年10月19日(水)

18:00~19:30

会場 ●山梨大学 玉穂キャンパス

中巨摩郡玉穂町下河東 1110

臨床講義棟小講義室

問い合わせ先●附属図書館医学分館

055-273-9357 (医学情報グループ)

*駐車場が手狭なため乗り合わせておこしてください。

講師紹介

土地 邦彦

(どちら くにひこ)



1974年信州大学医学部卒業。

山梨県内の病院で麻酔科医を担当後、

1992年医療法人「どちらペインクリニック」を開業。

ペインクリニックと在宅医療を柱に地域で医療活動を行ってきた。2003年7月に玉穂町に総合診療機能と緩和ケア(ホスピス)機能を有する有床診療所「玉穂ふれあい診療所」を建設し、現在に至っている。

医療法人どちらペインクリニックホームページ

URL <http://www.dpc-hos.or.jp/>

入場無料

